



## 座光寺風景

### 座光寺スマートインターチェンジ3月28日開通

飯田市の北の玄関口として新たな歴史が始まります。(写真撮影 令和3年3月25日)

座光寺地域内の主要道路に加え、今後開通予定の座光寺スマートインターチェンジや、アクセス道路、リニア駅などのインフラが示されているほか、大門原から望む南アルプスの山並みや、国史跡の

新しい案内看板は、縦2・4m横2mと大型化され、標高1270mの座光寺富士山頂から、天竜川まで座光寺地域全体の様子が示されています。

自治振興センター東側にある座光寺地域の案内看板が新しくなりました。以前の案内看板が、老朽化していたところ、篤志寄付をいただき、座光寺全体を案内できるように看板を新たに作製しました。

当時の姿をほぼ完全な姿でとどめる南本城の鳥瞰図なども示されています。



「麻績の里座光寺」の案内看板が設置されました



通学途中に新しくなった看板を見つけた小学校の児童は、知っている場所、今まで知らなかったところなどを思い思いに指をさしながら友達と話しをして盛り上がっていました。

このほかに、座光寺の銘桜・一本桜の紹介や、高岡第一号古墳、恒川官衙遺跡、県宝の麻績舞台校舎、などの史跡や各種遺跡が三十か所以上示され座光寺の誇る様々な文化財が、余すところなく紹介されています。

高岡第一号古墳、恒川官衙遺跡、県宝の麻績舞台校舎、などの史跡や各種遺跡が三十か所以上示され座光寺の誇る様々な文化財が、余すところなく紹介されています。

# 令和元・二年度自治委員会活動総括

自治会長 福田 富廣

座光寺のまちづくりは、多くの住民の皆さんにより策定された「第二次座光寺地域基本構想・基本計画」をベースに進めて来ています。

しかしながら、本年度は、新型コロナウイルスの影響を受け、夏祭りや文化祭を始めとして交流と親睦を深め、子どもたちに夢を与える各種行事が中止となり、大変残念な状況となりましたが、「今できることをやろう」と取り組んできた一年でした。

大型プロジェクト事業のリニア中央新幹線整備事業及び関連道路整備事業は、座光寺スマートICが、関係者の多大なるご協力により三月に開通し、地域振興に繋がるものと期待しています。リニアは、開業が遅れるとの報道があり大変残念な状況です。事業によって進捗の差はあるものの、課題を克服しながら関係者の深いご理解をいただき、事業は進んできています。

恒川官衙史跡公園整備事業は、公有地化ができ、「清水エリア」の工事が二月から始まりました。年間通して水を

湛えることとなります。

座光寺の花「しだれ桜」の普及と情報発信に努め、クリアファイルを作成し全戸に配布しました。また、座光寺の優れた「自然・歴史・文化」の「まぶくり」を映像化し、教材や魅力発信に活用しています。

大きな改革としては、これまで委員の改選時に大半が交代し事業の継続性が困難になるという課題に対し、委員の選出方法の見直しを行いました。概ね半数が交代という新しいルールができ、令和三年度からスタートします。自治会の継続性と委員の負担軽減につながることを望んでいます。このように大変革期を迎えて自治会の活動は、コロナの影響を受けながら、より住み易い地域にしたい想いで努めてきました。

コロナの早期の終息を願うとともに、住民の皆さんのご支援ご協力に感謝いたします。

## 自治委員会総務文教部

本年度行ってきた事業は以下の通りです。

一、昨年から行ってきた「麻績のお宝体験」事業は、コロ

ナ禍により、子どもたちが各種行事等に参加してポイントを集めることができず残念でした。

そこで、行事に参加できない小中学校の子どもたちと新型コロナウイルスの影響を大きく受けている「地元協賛店」の両方が元氣になればと思います、座光寺の小中学生全員に地域振興券を1人千円分配布しました。

二、昨年制作した、「ふるさと座光寺へ還ろう」プロモーションビデオのナレーションを務めてくれた小学生四人と小学校へDVDを贈呈しました。また、座光寺地域への移住定住の推進のための空き家調査を実施し、現状把握をしました。

三、「新年初顔合わせ会」は地域活性化のため、地域づくりに関わる飯田市をはじめ、各方面の方々一堂に会して懇談する重要な「場」と位置付けております。

実施できるように、広い会場に変更したり、参加人数や時間を縮小するなど考慮してきましたが、「新型コロナウイルス感染症防止を最優先」として中止せざるを得ませんでした。

この経験を来年度へ活かす、地域活性の場として開催できることを願います。

## 自治委員会産業建設部

### 幻の座光寺スマートIC

#### 開通記念イベント事業

座光寺スマートICが三月二十八日に開通します。このことは、麻績の里座光寺の未来が、リニア時代に向けて大きく変わる第一歩となることでしょう。そこで、輝かしい未来を創る子どもたちを中心に、多くの方々に参加して頂き、そのスタートを地域の皆さんとお祝いしたいと、実行委員会体制を組み、開通イベントを計画してまいりましたが、大変残念ではあります。中止とせざるを得ない状況となりました。この場をお借りしましてご協力頂いた団体・グループ・委員会等の方々に御礼申し上げます。

## 自治委員会社会部

### 昨年二月に麻績の里座光寺の花として「しだれ桜」が制定されました。その制定を記念して、麻績の里舞台桜のクリアファイルを作製しました。各戸配布し、自治振興センターで販売もしました。ふ

るさとを離れている方への贈答用として購入される方が多く、好評でした。また、「しだれ桜」が麻績の里座光寺の花としてさらに広く浸透されることと座光寺スマートICの開通を記念し、桜クリアファイル第二弾を作製しました。第二弾は、桜をテーマに座光寺小学校の児童が描いた絵と座光寺出身の漫画家好本拓朗さんに描いて頂いたイラストのクリアファイルです。各戸配布と、六年生に地域から卒業記念品として、贈呈しました。

クリアファイル用に描いてもらった桜のイラスト105点を座光寺地域文化展で展示しました。思い思いの想像豊かな作品が集まり、子どもたちの個性を感じました。

## コロナ禍で

### 生活安全委員会の活動

生活安全委員長 棚田 和美

本年度は、生活安全委員会活動が二年目となり、一年目の経験から見直しを行った事業もありました。見直しの中で、実施しようと計画するものの、コロナ禍で活動の縮小を余儀なくされることも多くありました。

生活安全委員が、他団体と協力して行う事業で、春祭り

桜祭りなどの駐車場の交通整理などありますが、すべて中止となりました。

一、コロナ禍で中止をしなればいけないかった事業は、夏の交通安全パトロール、高齢者家庭訪問です。

二、内容を変更して実施した事業として、年末のハンドルキーパー運動に関しては、平成十九年度から実施している事業であり、今年度はコロナ禍で各店舗へ訪問するのではなく、通知文を配布する形で実施しました。今後は、生活の変化に合わせた事業の見直しをしていくことも考える必要

要があります。

三、フルーツライン草刈り、年四回の人波作戦に關しても例年通り実施しました。

四、子どもの見守りのための防犯パトロールは、小学校の休校、天候悪化で二回中止しましたが、他は実施してきました。

本年度は、カーブミラー清掃については、地区の皆さんに協力していただきました。様々な事業も地域の皆さんのご協力あつてのことと進める事が出来ました。二年間ありがとうございました。

### 二年間の活動を終えて

環境衛生委員長 八丁地美知子

何も分からずに手探り状態で活動を開始した一年目、そして二年目はコロナ禍での活動にもどかしさを感じながらの状況経過でした。

環境衛生に關する問題は、日々の暮らしの中で私たちの一番身近な課題ではないかと、思われます。

「ごみの分別」は、未だに正しくされていないものが多く「不法投棄」は、依然と無くなっています。自分が出したごみには、責任を持つこ

とーそれは「基本の姿勢」<sup>モットー</sup>かと。

環境衛生学習会や講習会を、今年度の計画目標にも掲げましたが、コロナ禍で実施できませんでした。

悪い点ばかりでも、ありませんでした。河川等の水質検査では、市環境アドバイザーの浅野先生には、現地にも同行して頂きました。出た検査数値を解析依頼して「生き物が住みやすい良い条件の水質」との良い結果が得られ、組合

回覧して報告ができました。また、ごみゼロ運動や、リサイクルステーションに、子どもたちの姿が見られたこと

は、嬉しい光景でした。

来年度も引き続き、「ごみゼロウォーク」を推進し、ごみの無いきれいなまちを、目指して頂きたいと思えます。

二年間、住民の多くの皆さま方にご理解とご協力を賜りました。ありがとうございました。

### コロナ禍の健康福祉委員会

健康福祉委員長 片桐 勇

例年どおりの計画を立てて実施して来ましたが、

一、九月に予定した当委員会の最大事業であります、敬老祝賀会が実施出来ず、誠に残念でした。本年度は参加者の拡大等計画しましたが叶いませんでした。

二、民生児童委員の方と協力して一人暮らしの高齢者への声かけ訪問等、訪問する委員も二年目ですので活発に行えたとおもいます。

三、コロナ禍でしたが

- ・ 移送サービス
- ・ 結婚相談事業
- ・ 小学生（六年生）のおやす作り

- ・ いきいき広場運営協力（回数減）
- ・ 男性のための料理教室（回数減）

- ・ 戦没者慰霊祭（縮小開催）
- ・ 等々実施しました。

四、各種健康講座及び講演会、委員研修会は実施出来ませんでした。コロナの早い終息を願うばかりです。



おやす作り

### コロナ禍に対応する

公民館委員長 塩澤 哲夫

「今できること」を工夫して取り組んできた。

- 一、コロナをとらえ見つめる
- ・ コロナを学ぶ学習会を開催
- ・ 「話を聞いてスッキリした」と感想があった。
- ・ 座光寺の子どもを語る会へ参加。休校中の家庭での不安や心配を知り意見交換した。

- 二、知る・学ぶ・考える機会を企画
- ・ コロナを学ぶ学習会
- ・ 壮年団との学習会「獅子舞のルーツを知る」を企画。
- 延期。
- ・ 「シードルに学ぶ」を、地域人学習の高校生や新成人が取り組む。地域の名物となることを願う。

- 三、各事業の見返しと組み立て直し
- ・ 成人式の内容と時間、場所と運営の工夫。八月以降に延期。（文化部）
- ・ 運動会に替わる「ニュースポーツの体験会」を開催。
- 三会場で、一時間限定で、グラウンドゴルフとクロリティーを。（体育部）
- ・ 「おうちdeストレッチ」のチラシでお薦め。（体育部）
- ・ 火おこし体験と星空観察、ソーラーカー作りを実施。
- 内容の精選、時間を短縮、チラシのお届けで親子で楽しむ。（育成部）
- ・ コロナを伝える、活躍する方々などの工夫。（広報部）
- ・ シトラスリボンを製作。
- ・ リボンに込められた願いを学び交流。（女性委員の会）
- ・ 一般教養講座で地域からの出土品見学、シトラスリボンづくり。（いきいき大学）
- 四、新成人の、実行委員会への参画、ふるさと学習を支援。
- ・ 実行委員の活動とふるさと学習は継続する。

今後は、新しい生活様式の中で、委員全員が、新しい感覚と熱意を持って企画運営し、「自ら考え自ら行動する」を実践していきます。ありがとうございました。

# 座光寺地域作品展

期間：3/6（土）～3/14（日） 場所：公民館1階 視聴覚室



**座光寺地域作品展を  
開催しました**

三月六日（土）から十四日（日）まで公民館において「座光寺地域作品展」が開催されました。本来ですと二月六日七日に行われる予定でした座光寺地域文化祭にて展示発表されるものでしたが、その文化祭も新型コロナウイルスの影響を受け中止となってしまいました。そこで団体の作品や活動の成果を多くの皆さんに見て頂こうと企画し募集したところ、四団体の申し出を頂きました。

自治委員会社会部は小学生に募集して集まった桜のイラストの展示、座光寺児童センターは児童たちが毎日の活動の中で作った作品の展示、座光寺小四年生は人形劇に使用した人形の展示、飯田OIDE長姫高校の生徒は地域人教育で取り組んだ座光寺のシードルについてのシードルポスターや活動の展示等でした。いずれの展示も工夫をこらしたすばらしいものになっていました。

来年は文化祭が盛大に開催され、各団体がすばらしい発表が出来ることを心から祈っております。  
(文化部)

# 小学校だよ

## 四年生の人形劇

座光寺小学校四年生は、総合的な学習の時間に人形劇を行っています。

例年は、八月に行われる人形劇フェスタで発表しますが、今年は、新型コロナウイルスの影響で人形劇フェスタが中止になったため、発表が行えませんでした。が、感染拡大防止に配慮しつつ、二月二十五日に小学校で、学校運営協議会の皆さんや、学校支援ボランティアの皆さんを招いて発表会を行いました。

人形劇をするにあたり、子どもたちは、「お世話になっている地域の皆さんに楽しんでいただきたい」という思いから、元善光寺の本多善光が如来様を座光寺の地へ持ち帰る物語をモチーフに、現在と過去の二つの龍が登場するオリジナルストーリーです。

人形劇を鑑賞した方は、「人形が大きく上手に作りこまれており、動きも入念に練習されていて感心した。セリフもはつきりとよく聞こえてとて



も見たえのある人形劇だった」と感想を語っていました。

人形劇を演じた四年生の女子児童は、「みんなで、人形劇のお話を考えるのがとても楽しかった。コロナで人形劇フェスタに出られなくて残念だったけど、工夫して練習できましたし、最後に地域のみなさんに人形劇を見てもらえてとても嬉しかった」と感想を聞かせてくれました。

## 六年生お楽しみ会が開催されました

座光寺小学校六年生は、今年、新型コロナウイルス感染拡大の影響で修学旅行に行くことができませんでした。

修学旅行に行けなかった代わりに、二月二十七日と二十八日に小学校校舎を使ってお楽しみ会が開催されました。

子どもたちは、「修学旅行に行けなかったのは残念だったけど、いままで体験したことのない経験ができて、とても良い思い出になった。」とか、地元飲食店から購入したお弁当について、「みんなが食べた豪華なお弁当がとても美味しかった。」など、口々に楽しかった感想を語っていました。

(広報部)



お楽しみ会は、先生方が休日返上で土日の学校を開放し、レクレーションや、夕方の学校校舎を使った肝試しを行ったほか、学校の窓ガラスに絵を描くウインドウアートを行いました。

二十八日の午後には、保護者を招いた学習発表会を行い、子どもたちから保護者に感謝の手紙が渡されると、思わぬプレゼントに感動の涙を流す保護者もいらっしやいました。

# 保育園だよ



鬼が来た時にあつちちの豆を蒔くんだよ。0、1歳児さんも真剣にのぞき込んでいます。臭いイワシも用意したよ。



「めそめそ泣いている子はいないか!?」「きゃー!!」リズム室まで追いかけてきた!! 行き場がない! 頑張って豆まきだ!!



鬼がちよつとよろめいた時に一気に豆をぶつけて: 「うわあ〜これは参った〜」参りましたと頭を下げたよ。やったあ!!



「鬼はみんなの身代わりになって、弱い部分」を持っていつてくれたんだよ」この日の給食は「鬼ハンバーグ」どこから食べよつかなあ。頑張って豆まきして、しっかり食べて、心も体も大きくなるね。

# 新春書写初め会

今年も一月四日に新春書初め会を開催しました。今年は一十一名の小学生、中学生が座光寺公民館の大会議室に集まりました。

近年ライフスタイルの変化から家庭での書初めが容易にできないとの声があり、それなら公民館の大会議室を子ども

もたちの書初めの場に提供しようとは始まり今年で二年目となります。新型コロナウイルス感染症の防止対策をし、広い大会議室で子どもたちが、それぞれに用意した習字道具を開き、お手本を基に作品を仕上げていきます。

墨の匂いと筆を運ぶかすかの縦方向に約二十cm間隔で穴を開け、次の列は前の列とずらして穴を開け種駒を打ち込むこの方法は「千鳥植え」と言うそうです。

## 親子シイタケ 駒打ち体験

三月七日(日)に座光寺地区財産区議会主催の「親子シイタケ駒打ち体験」が④選果場にて開催されました。まず、議長の松村さんから、シイタケ駒打ち体験は今回が初めての開催であり、自然にふれあって欲しいという趣旨で開催するという挨拶がありました。

参加した九組の家族の皆さんは、駒打ち作業や持ち帰った後の管理方法について熱心に耳をかたむけていました。



電動ドリルで穴を開ける作業は子どもには少し危険でしたが、財産区の皆さんの丁寧なサポートによりスムーズに作業することができました。

参加した小学一年生の田中麻央さんは「穴開けの音が大きくてびっくりしたけど、駒をトントン打つのが楽しかった」と感想を語ってくれました。



二時間、真剣に取り組む子どもたちの姿は立派で、子育てが終わった世代ではなかなか見れる機会がなく新鮮なひと時でした。(育成部)



祝 甲子園出場 上田西高校

座光寺出身

松村龍我君が

甲子園大会に出場



(この記事は甲子園開幕前、三月九日に取材しました)

上田西高校でこの春高校三年生になる松村龍我君(北市場地区)は、三月十九日(金)に阪神甲子園球場で開幕する第九十三回選抜高校野球大会に、ピッチャーとして出場します。

松村君は、座光寺ベースボールクラブ出身、中学校時代は、高陵中学校野球部で、ピッチャーとして活躍しました。また、生徒会長も務めた文武両道の生徒でした。

上田西高校でもピッチャーとして練習を重ね、三月六日に行われた松本国際高校との練習試合では、先発として登板し、四回一失点の好投をしました。

松村君は、「座光寺で育ってきて多くの皆さんにお世話になってきました。甲子園では、地域の皆さんへ野球で恩返しできるように全力でプレーします。応援よろしくお願いします。」とその意気込みを伝えてくれました。

# 自治会表彰

二月二十二日(月)、自治会表彰授賞式が行われました。今回受賞された方々は一人の個人と二つの団体の方々です。



## 長沼豊さん

飯田市農業委員・農地適正化推進委員を四期十二年にわたって務められ、座光寺地域の農業振興にご尽力されました。

## 座光寺ベ이스ボールクラブの皆さん

飯伊少年野球大会の優勝など、今年度出場した全十四大会のうち十二大会で優勝するなど、好成績を収め、地域を明るく元気にしてくださいました。

## 河原地区

### 自衛消防隊の皆さん

日頃から消防ポンプなどの点検整備を行い、十二月十六日に発生した火災の際、逸早い消火活動により、被害を最小限に抑えてくださいました。

### 長沼豊さんより

地域の皆さんのお力添えをいただき、務めることができましたこと、心より感謝しています。

任期中、多くの皆さんにご協力いただき座光寺上段に有害鳥獣の侵入を防止する柵の設置をすることができ、地域の農業と住民の生活を守る事ができました。また、大門原の遊休農地整備をし、交流の場として、みんなが集える場にしていきたいと思えます。

座光寺は、他地域に比べ農業後継者が多い地域ですが、今後、担い手不足は深刻化することが予想されます。これまでの経験を活かして、地元農業の発展にこれからも貢献できればと思います。

## 座光寺ベ이스ボールクラブの皆さんより

大好きな野球を続けていたから、すばらしい賞をいただく事ができて、とても嬉しく思います。保護者や地域の皆さんが応援してくれているおかげで、好成績を収めることができました。

## 中学生美化活動

高陵中三年 尾曾 日和

先日生徒会の時間に、地域清掃に参加させていただきました。主に、公園の整備という事で、公園の中に落ちている落ち葉をほうきを使って、地域の方といっしょに清掃しました。

地域の方は月に一度集まって公園とその周りを掃除しているそうです。それを聞いて、誰かのために動くというのはすごいことだと思ったり、きれいになった公園を見るとやってよかったと思いました。

私も普段から誰かのために

へ行っても野球を続けて、将来は座光寺に恩返しできる大人になりたいです。

## 河原地区自衛消防隊より

代表 棚田博昭さん

河原地区自衛消防隊は、地区の住民十数名が参加し、定期的にポンプの点検や水路の掃除などを行ってきました。また、重量物であるポンプを最小限の人数で運搬できるように、車輪付きの台車に載せるなどの工夫も行いました。

(広報部)

動いてくれている方々に感謝して生活していきたいです。

高陵中三年 田中 彩斗

今回、僕は美化委員会として、元善光寺公園の清掃をしました。小学生のころによくみんなで遊んでいた場所で、



## 寄付型地域応援定期預金

YELL

二月に飯田信用金庫より飯田下伊那地域の団体へ定期預金による寄付があり、座光寺地域へ九万円をいただきました。自治会長が代表して受け取り、「地域づくりに役立ってます」と感謝の意を伝えました。



地域の方も来られる場所なので、落ち葉やゴミがないきれいな公園にしたい気持ちで、元善光寺公園のゴミ拾いと落ち葉拾いをしました。

普段、公園の清掃を行っている二十年会の方々に手伝っていただきながら清掃をしました。委員会として今回は清掃をしましたが、家が近いですので、一ヶ月に一回やっているので、手伝うことができましたら、今回のような気持ちを持って公園をきれいにしていきたいです。

座光寺の自然シリーズ ⑳  
座光寺のスミレ

スミレは日本を代表する春の花。暖かな日差しを浴びた春の野でスミレを見かけると嬉しくなるものです。このスミレ、よく見ると意外に種類があるのです。座光寺にはどんな種類があるのでしょうか？

座光寺の主な種類



スミレ：日当たりのよい乾いたところに生えています。葉柄にひれがついているので近縁のノジスミレと区別できます。



タチツボスミレ：最も多くみられるスミレです。花の色などに個体差が少しあります。



コスミレ：公民館の西側、石垣の間によく見られます。



ニオイタチツボスミレ：日当たりの良い周りの草丈が低いところに生えています。麻績神社右の舞台桜若苗を植えたところに毎年見られます。



ヒメスミレ：小型のスミレ、花も葉も小さいです。麻績神社の石段、平安堂周りのアスファルトの間にもあります。



ツボスミレ：半日陰の少し湿ったところにみられます。小さい白い花です。



フモトスミレ：山沿いの林道脇などにみられます。

閉鎖花

花が終わった後に閉鎖花が出てきます。「何！それ？」

と言われそうです。スミレは花が凝っていて昆虫がなかなか思うように花粉を運んでくれない。そこで花を開かず、中で雄しべの花粉を雌しべにつけてしまうのです。こうして確実にタネをつくりま



閉鎖花：左から右のように成長します。花が開かないまま種子ができます。



熟した果実：舟状のものが乾くと狭まり、その圧でタネが1mほど弾きとびます。

スミレの名の由来

スミレという名は昔の大工さんが使っていた「墨入れ」からきています。柱などに線を引く道具で花の形が似ているのです。これを知っている人は：七十歳以上かな？

最近、帰化植物のアメリカスミレサイシンが座光寺でも目につきます。

さて、お宅の近くのスミレを見かけたら、この写真と照らし合わせてみてください。きっとどれかに当てはまると思います。

(伊那谷自然友の会・小林正明)

編集後記

新型コロナウイルスでほとんどの行事が中止になり、広報部の私としては、何を書こうか正直迷いました。そこで、昔からの伝統行事について少し触れてみようと思い「どんど焼き」の事について書いてみようと思いを取りました。

近年は、どんど焼きをする地区も少なくなり、ちよつと淋しいような気がしますが、それも仕方がない事だと思えます。

最近、子ども達も減少傾向にあり、地区によっては住民有志で行うところもあるそうです。伝統行事が継承されることは、素晴らしい事だと思えます。

さて、この一年間を振り返り、コロナに始まりコロナで終わろうとしています。地域の皆様はいかがでしょうか？

これから桜の時期になります。少し足を運んで舞台桜や石塚桜を見て楽しむのもいいかと思えます。

そして早くコロナが終息するようにと願っています。

それと同時に、地域の皆様健康でいられますように！

普段から広報部の活動に御協力いただき有難うございます。

(広報部)

